ボーリング柱状図

調　　査　　名　一級河川江の川水系小原川　通常砂防工事に伴う業務委託

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	1	3	2	7	5	2	1	0	0	1

シートNo.

ボーリング名	H28-1	調査位置	広島県安芸高田氏吉田町上入江		北　緯	34° 36' 24.9000"
発注機関	広島県西部建設事務所　工務第二課	調査期間	平成28年 7月30日～平成28年 8月 1日		東　経	132° 38' 26.6600"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	264.44m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機D1－C48	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	8.00m								エンジン	ヤンマーディゼルNFD-13MEK	ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率(%) 最大コア長 cm RQD[%]	岩級区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm	N値	原位置試験	室内試験	掘進 掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
1	262.99	1.45		礫混り砂	茶褐						礫混り砂。 砂は細～中砂主体である。礫はφ=10～40mm程度である。角礫である。少量の植物の根を含む。	(100)			1.15 11/30 1.45						100		シングル／MC	100.	050	0.0	無水／0	
2	262.44	2.00									礫混り砂。 砂は細～中砂主体である。礫はφ=5～10mm程度で、亜円礫である。	(100)			2.15 10/30 2.45												
3				砂礫	茶褐灰						砂礫。 砂は細～中砂を主体として、φ=10～50mm程度の亜円礫を多く含む。 礫種は泥岩と砂岩が多く、流紋岩を少量含む。	(100)			3.15 17/30 3.45					50			0.0	80	0.1	清水／5	5
4	259.69	4.75										Q[0](100)			4.15 23/30 4.45												
5	258.99	5.45		砂岩	淡青灰	D	Ⅳ	b	γ	1	風化した砂岩。 コアは主に土砂状～岩片状を呈す。	15[15](100)	CL		5.00 50/6 5.06							ダブル／DI					
	258.64	5.80				E	Ⅴ	c			コアには高角度亀裂が多く発達する。特に、GL-6.40m以深はヘアークラックが密に発達している。亀裂面は酸化により、褐色を呈する																
6	258.44	6.00				D	Ⅲ	b				18[28](100)			6.00 貫入不能					100			0.0	100	0.1	清水／5	5
7	256.64	7.80		流紋岩	淡緑	C					風化した流紋岩。コアは短柱状～柱状を呈す。 亀裂面は酸化により褐色を呈し、その周辺部も変色している。	10[20](100)	CM		7.00 貫入不能												
8	256.44	8.00				E	Ⅴ								8.00 50/8 8.08												
9																												
10																												
11																												
12																												
13																												